

夏の幼稚園を前にして

——(麹町教育會主催のもの)——

檜 山 京

「夏の幼稚園」のいふ名目は、小學校に於ける夏季林間學
校又は臨海學園の様に、虚弱兒童の健康増進を目的として
るものではありません(勿論健康に就ては實際大に顧慮する
のですが)都市の幼兒を危険な非衛生な路傍の遊びから救
ふのであつて事實にあてはまる様に申せば「夏季託兒」の
ふ事になります。編輯室からは「夏の幼稚園」の注意に就て
一筆せよと承つたのですが、既に「夏の幼稚園」に就ては度
度賁い紙上を汚して居り又託兒に就きましたは専門の先生
方から、よい御注意を紙上で拜見して居りますので拙筆を
並べる隙間は無いように思ひますが、是非にこのお話に依
り、二、三回の實驗の結果夏季なるが故に特に留意した又
今年もしようとする點一、二、三これまでの経過に鑑みて
今年は變へようとする事に就て記し御批判を頂き度いと思

ひます。

1. 身體的方面

○毎朝玄關に二人以上の保姆が居て登園の幼兒の顔色眼の
色に異状なきかを調べ、檢温(今年から)を致します。

○遊ぶ時に元氣か、何もなくだるさうでゴロ／＼する事は
ないか、を常に留意します。

○間食や食事をよく食べるか、いや／＼か、又は残すか(好
き嫌の爲のは例外として幼兒が間食を残すのは、よく
い、で、大抵は何處かに多少の身體的異状のある時か又
は其前兆を思はれます)。

○晝寝の眠り方(眠るに咳が出る、噂をかく、夢を見て起
る、深く眠る等)を時間の長短を記録します。

○お辨當は時節柄、梅干入りのおむすび、又はごまほむす
びに澤庵を二片位云ふ約束なのですが二週間目あたり

から少数ですが時々お菜が入つて来ます（子供が、あきるからこいふ理由の下に）鯉節にお醤油をかけたもの、海苔のつくだに等は危険が無いにしても、野菜、魚類なきは一應注意をしなければなりません。費用をきつてもよいかから給食にするようにこの希望も少数ありましたが、これは設備、費用、人手の関係もありますので實現して居りません。

○空氣浴と日光浴は衛生顧問のおすすめに従つて園の内外ともに奨励して居ります。腹部を冷さないようにして其他の皮膚を出来る丈け露出させます。

○けれぎ、人工紫外線浴にしても度を越すミ害がある云はれ太陽にしてもあたりすぎれば日射病こいふ事になりますから日なたで遊ばせるミ同時に日蔭の有無も留意しなければなりません、これは園内ではさう困る事ではありませんが、園外へ出る時に豫め調べて置かねばならぬ事です。

○なほ夏季に園外につれて出る爲に特に留意する事は日なたに出ますミ湯を訴へますから、適當な飲料水の供給法

（水筒の水は時によるミ栓の洗ひが足りない爲に腐敗する事もあるので）を考へねばなりません。市内で水道の得易い所なら空の藥罐を二つ位（人数によりて数は違ひます）用意し何處でもこれに入れて配ります。公園なきにたえず湧き出てる水は三十三人の咽の乾いた幼児の一人一人をなるべく同時に満足させるには、少し不便の事があります、あれは一度に一人しか飲めませんから一番後で待つ子はたまりません。湯呑みは各自が持つてるますから藥罐のくみ立ての水ミ兩方ですればよいと思ひます、そして一人の子が何杯（一杯か二杯のんだかこいふ事は必ず心に留めて置かねばなりません。其點では藥罐は二個でも汲む人は一人で兩手でする方がよい様です。

○其他手洗水（これは平常もさうですが）、終日居るならば晝寝の場所等豫め調査して置かねければなりません。

○間食はお辨當に副食物を缺いてゐますから第一材料のよいもの第二に低廉な品でなるべくは一般幼児の好みにあふもの量はさちらかミ云へば少量にしてゐます、週豫定表を作り、キャラメル、ドロップ以外のビスケットパン

類は前日注文して出来立てのをを用ふ様にして居ます。

2、保育の方法。

ただ居てさへ身體が飴の様にのび易い暑さの折からであるのこ、先生方も平常よりは経験の少い方々であり、幼児も團體的訓練を経ない者が短時日を共に暮す事故平常はあまり使はない時間制を用ひます。

八時十五分まで 検温

八時三十分——八時四十五分 ラジオ体操

九時——九時三十分 組の遊び(唱歌遊戯等手

技

九時三十分——十時 自由遊

十時——十時三十分 午前間食ミ其準備

十時三十分——十一時三十分 ゲーム又は水遊び

十一時四十五分——十二時半 晝食ミ其準備後片付け

十二時三十分——一時半 午睡

一時三十分——二時半 水遊び又は人形芝居お話

等

二時四十分——三時

午後間食ミ其準備

三時——三時十分 歸宅ミ其準備

右の時間は天候や氣温、幼児一人の特別な状態又其他に依つて勿論多少の變更はあります殊に全兒園外へ出る時又或組が園外に出る爲保母の病氣等に依る變化も當然の事でありませぬ。

3、これまでの實際を顧慮するに日曜日の翌日は、日曜に他出して食へすぎる爲、又疲れる爲に缺席が多くそれも身體の故障が大部分になつてゐました、それで今年は保母の方は努力を加へて日曜日を休まぬ事にして見るつもりで居ります。なほ經費が許されれば郊外へ出る度數をずつミ増し度い希望で居ります。

4、募集ミ申しますか「夏の幼稚園」開催の知らせは先づ各町會長あてに「加入のすゝめ」さいふ刷物をそへて希望者に分けらるゝ様に依頼しそれに昨年は幼児の描いたポスターを町内の所々に貼つていただいたのですが、今年は人數が多すぎる困難からポスターはあまり用ひません。